

再生歯科治療学分野セミナー  
Regenerative Dental Medicine Seminar

コンポジットレジン修復物の  
色調調和性獲得のための  
戦略と戦術

－ 窩洞形態と混色レイヤリング －

Enhancing Color Matching in Direct Resin Composite  
Restorations: Strategies and Tactics

- Cavity form and multicolored layering -



中島 正俊 先生

Dr. NAKAJIMA Masatoshi

日本銀行本店文書局医務室歯科・嘱託歯科医師  
徳島大学客員教授

日時: **October 25** (Wed) 17:30-18:30

場所: **歯学部 講堂**

(Faculty of Dentistry, Auditorium)

近年、臨床では歯冠修復に対する審美的要求が、ますます高くなっている。直接法コンポジットレジン修復では、修復歯の審美的外観を最小限の侵襲で模倣し再現することが求められる。天然歯は、それぞれ光学的特性の異なるエナメル質と象牙質の二重構造体であり、その色調表現は歯種、部位によって千差万別である。さらにエナメル質と象牙質の色調や光学的特性は年齢によって変化していくことと相まって、周囲歯質と色調調和性のあるコンポジットレジン修復物を得ることは、非常に困難な作業となっている。限られたシェードのコンポジットレジンでは、周囲歯質と完全に色調適合させることは不可能であることから、いかに修復物境界部を視認しにくくさせるかを腐心することになる。そのためには、境界部における相互色調反映性に優れた（拡散透過性の高い）コンポジットレジン材料を選択すると共に、境界部の構造、すなわちエナメル質窩縁形態をどのようにするかを考えなければならない。また、色調表現のための混色レイヤリングテクニックも、直接法コンポジットレジン修復では習得すべき必要な知識・技術となる。本講義では、エナメル質窩縁形態の処理およびレイヤリングテクニックについて解説する。

※ 本セミナーは大学院口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねております

This seminar is a graduate special lecture at the Graduate School of Oral Sciences.

連絡先：再生歯科治療学分野 助教 米倉和秀

Contact: Regenerative Dental Medicine

YONEKURA Kazuhide, Assistant professor

主催：徳島大学研究クラスター

「接着歯学&光工学との最先端融合による<Super Tooth>創生  
～次世代の低侵襲接着再生歯科治療への展開～」